



ANGEL GROUP CO., LTD.

PRESS RELEASE

2025年2月12日

マカオ最大手 IR サンズチャイナのマスバカラテーブルへ導入完了 **エンゼルのスマートテーブルシステム**

エンゼルグループは2025年1月31日までに、マカオのIR (Integrated Resort) 最大手であるサンズチャイナがマカオで運営するカジノ施設のマスゲーミングフロアにおいて、全てのバカラテーブルにエンゼルのスマートテーブルシステムを導入しましたことをお知らせいたします。このスマートテーブルシステムはエンゼルが独自開発、製造したもので、マカオでの導入数は1,100テーブル以上に上ります。

今回のサンズチャイナでの導入完了を受け、エンゼルのスマートテーブルシステムはマカオ、シンガポール、フィリピン、オーストラリアのIR施設にて、約2,000テーブルが導入されたこととなります。

エンゼルのスマートテーブルシステムは、Artificial Intelligence (AI)とRadio Frequency Identification (RFID)技術の両方を駆使した“ハイブリッド”型で、テーブル上のチップの数、種類、位置情報を正確に認識し、その情報をデジタル化するものです。このスマートテーブル導入により、IR施設は瞬時にゲーム情報を取得できることになり、セキュリティ向上、オペレーション効率化、戦略的なマーケティング、顧客満足度の向上など、これまでのIR運営を革新的に変えることが可能となります。

エンゼルグループは、このハイブリッド式スマートテーブルシステムの開発導入を、バカラテーブルのみならず、その他ゲームのブラックジャック、ルーレット、大小 (Sic Bo) 等にも拡大して参ります。

エンゼルグループは今後もIR業界におけるシステム、機器の技術革新への貢献を続けてまいります。